



St. Luke's Society for Nursing Research

聖路加看護学会ニュースレター



■ 理事長就任の挨拶

聖路加看護学会 理事長 松谷美和子

聖路加看護学会は、1996年に発足、同年9月に第1回学術大会が常葉恵子大会長のもとで開催されました。それから23年が経ち、2018年9月には第23回学術大会が開催され、盛会のうちに閉幕いたしました。

この学会は聖路加の名を冠しておりますが、2015年4月には一般社団法人として法人格をもち、さらに開かれた学術コミュニティとして歩みを進めております。設立当時の趣意である「実践を重視する看護の学的体系化の一翼を担う」ことは、今も変わらぬ学会の目的です。これからも実践を重んじる多くの者が集い、あらたな知見を発信し、意見を交わし、実践に還元し、その成果を発表する、そうした好循環を実現するコミュニティでありたいと願っています。

学会誌の発行と学術大会の開催を中心的な事業として位置づけ、これらを支える学術交流の場を設け、学術・研究情報を提供し、さらに研究助成事業を行って参ります。今後とも、学会員として、一般社団法人聖路加看護学会をご活用いただければ幸甚でございます。

■ 年会費値上げのお知らせ

2019年度から年会費を8000円から10,000円に値上げします。また、入会金3,000円の納入を廃止いたします。(2018年6月8日定時評議員会決議事項)

総会でお伝えいたしました通り、年会費の値上げと入会金の廃止についてご説明申し上げます。

これまで本学会は入会金3,000円、さらに年会費8,000円を会員の皆さまからお預かりして、学会運営を行って参りました。しかしながら、ここ数年予算作成時に、赤字となる事態が続いております。その理由は、支出予算額に対する会費収入見積り額が低いことにあります。是非、皆様には会費をお納めいただきますよう、お願い申し上げます。

支出額の削減、特に支出予算額の70%強を占める事業予算のための努力としては、招聘講師を会員から探す(講師が会員の場合謝金の支払いはありません)、ニュースレターを紙媒体からWeb掲載に切り替える(印刷、送付代金が削減されます)、諸会議をメールあるいはウェブ会議で行う(交通費、会議費が削減されます)などを行っています。しかし、これにも限界がございます。

理事会としては、むしろ今後は、研究助成事業を増やし、助成金額を見直し、積極的に会員への還元策を提案し、それらを実施して参りたいと考えております。取組みの一つとして、学会誌の原稿種類に「実践報告」を新設し、広く看護実践に関する研究を掲載できるよう工夫したところです。また、次の学術大会では実践研究の新たな方略をテーマにしています。

このように学会誌や学術大会の充実はもちろんのこと、学術交流や看護実践研究に関する情報提供を活発に行うなど、会員の皆様に利益を還元できるように努力して参ります。どうか、今回の会費値上げについてご理解いただき、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

■ 学術交流委員会からのお知らせ -2019 年度研究助成について-

現在、2019 年度「聖路加看護学会看護実践科学研究助成基金」の募集を行っております。
本研究助成は、看護実践科学研究の推進を目指し、看護実践の向上と看護学の発展に寄与することを目的としております。
今年度より研究目的のさらなる達成のため、限度額が 20 万円に増額となりました。

応募資格:看護実践科学研究を志向する個人またはグループで、
研究代表者が本学会の会員であること
助成対象:看護実践の向上に寄与すると考えられる研究課題
件数:1 件程度
助成額:上限 20 万円
募集締切:2019 年 1 月 31 日(木)(必着)

応募の詳細につきましては、学会ホームページの 2019 年度「研究助成」募集要項、「研究助成」細則をご参照ください。

多くの皆さまのご応募をお待ちしております。

(担当理事 吉田 俊子)

■ 高度実践開発検討委員会からのお知らせ

本委員会は、高度看護実践における臨床研究を推進し、実践家によるエビデンスに基づく介入の開発に貢献することを目指して活動を展開します。

今年度は、高度実践看護に携わる看護職の皆様を対象に、“高度看護実践家のための臨床研究セミナー”を開催します。Clinical question(臨床疑問)を研究につなげ、研究成果を臨床に生かす一連の流れと方法について、研究事例を参考にしながら理解を深めます。

来年度は、研究セミナー&相談会を 2 回開催します。参加者の皆様の Clinical question を具体的な研究目標につなげ、研究計画書の作成を目指します。

セミナー&相談会をご活用いただき、臨床研究に是非トライ！してください。

(担当理事 野末 聖香)

“高度看護実践家のための臨床研究セミナー”のご案内

日時:2019 年 3 月 10 日(日)10:30~12:20

場所:慶應義塾大学信濃町キャンパス(東京都新宿区)

内容:精力的に臨床研究に取り組み、成果を挙げておられる 2 人の専門看護師から、臨床に根ざした研究の実際、研究を進める上での秘訣や展望などについてお話を伺い、議論します。

* 詳細は聖路加看護学会 HP をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

▶ 発行: 2019年1月10日
▶ 編集: 宮原 晴子 中田 諭
佐々木菜名代 松尾 尚美
▶ 連絡先:
〒104-0044
東京都中央区明石町 10-1
聖路加国際大学内
Tel 03-3543-6391(代表)
Fax 03-5565-1626(代表)
<http://slnr.umin.jp/>

ニュースレター発行や
様々な情報をメーリングリス
トでお伝えします。
未登録の方、再登録の方
は是非ご連絡を。

■ 第 24 回聖路加看護学会学術大会のご案内

来たる 2019 年 9 月 14 日(土)、第 24 回聖路加看護学会学術大会(学術大会長 聖路加国際大学大学院教授 林直子先生)が開催されます。

メインテーマは「Implementation Research—実践の場に根差した新たな研究方法の探求」です。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

演題締め切り: 2019 年 5 月 31 日(金) 正午

※2019 年 3 月 1 日(金)より申込受付開始予定です

■ 学会誌編集委員会からのお知らせ

あけましておめでとうございます。

聖路加看護学会誌投稿規定を 9 月に改定し、「実践報告」を新設しました。会員の皆様の多様な実践を論文として投稿いただけることを編集委員会では期待しています。その他の種類の論文の投稿も随時受付けていますが、毎年 1 月末発刊号(冊子体)は前年 5 月末まで、毎年 7 月末発刊号(電子版)は 11 月末が投稿期限です。冊子媒体の学会誌は年 1 回の発刊で、1 号、2 号合併となっています。

(担当理事 亀井智子)

■ 会計からのお知らせ

今年度(2018 年)の会費納入がお済でない方は、下記口座にお振込みをお願いいたします。

振込先: 郵便振替口座

口座番号: 00100-8-670371

加入者名: 一般社団法人 聖路加看護学会

来期会計年度 2019 年 4 月 1 日より年会費を 10,000 円に値上げさせていただき、入会金は廃止と致します。詳細につきましては、理事長からの「年会費値上げのお知らせ」をご一読ください。ご理解を何卒よろしくお願い申し上げます。

(担当理事 中村めぐみ、朝川久美子)

■ 庶務からのお知らせ

2018 年 10 月末現在の本学会の会員数は 644 名となりました。2019 年度は役員および、理事・監事のダブル選挙が予定されていますので、勤務先(所属)、住所、メールアドレスなどの変更がありましたら、学会事務局までご連絡ください。また、期日までの会費納入へのご協力をお願いいたします。会員の皆様には引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

(担当理事 小林京子、奥 裕美)

■ 編集後記

広報委員として 2 回目のニュースレター発行となりました。

この年末年始は「平成」をみつめ、思い返し、語る場面が多くみられました。皆さまは、時代の節目となる年をどのようにして迎えられましたか。寒い日々が続いていますので、どうぞご自愛ください。

(広報委員会 松尾 尚美、中田 諭、佐々木菜名代、宮原 晴子)

